

# わくわく 本だな



## こんげつのおすすめ



★ = 1・2年

★★ = 3・4年

★★★ = 5・6年

### 『おばあちゃんからライオンをかくすには』 (えほん) ヘレン・ステイーヴン/作

さくまゆみこ/訳 ブロンズ新社



アイリスのうちに、おばあちゃんがかかることに。ライオンとくらしていることは、ぜったいにひみつにしなくっちゃ。

### 『おばけのあんみつ』(えほん)

国松エリカ/作 小学館



おしろに、おばけがでるらしい。おとのさまは、おばけたいじを、かんがえました。「なづけて、あんみつさくせんじゃ！」

### 『くさいはんにんをさがしだせ!』★

川北亮司/作 羽尻利門/絵 新日本出版社

がっこうのトイレが、くさい。だれかが、うんちをもらしたかも。ゆいは、トイレをのぞき、はなをひくひくさせました。



### 『魔女バジルと魔法のつえ』★★

茂市久美子/作 よしざわけいこ/絵 講談社

流れ星をつかまえることが、大魔女の弟子になる条件。バジルは、黒ネコとほうきにまたがり、空飛ぶ練習を始めました。



### 『なみだの穴』★★★

まはら三桃/作 小峰書店



レスリングの試合で、弱い相手に負けた真矢。悔しくてなみだも出ない。心配そうに、声をかけてきたコーチの耳の穴を見ると…。

### 『地雷をふんだゾウ』(ちしきの本)

藤原幸一/写真・文 岩崎書店



地雷とは、地中にうめた爆弾。ふむと爆発し、命を落とします。奇跡的に生き残ったゾウは、どんな生活をしているのでしょうか。



# あたらしく はいった本

## 『ちいさなワオキツネザルのおはなし』

(えほん) オフィーリア・レッドパス/作・絵

松波佐知子/訳 徳間書店

とおいきたくにつれてこられた、ワオキツネザル。わるものからにげだして、はやくあんぜんなばしよをみつけなきゃ！



## 『「あ・そ・ぼ」やで！』(えほん)

くすのきしげのり/作 こうの史代/絵 くもん出版



ユキは、クラスでひとりぼっち。おもいきって、ショウくん「あそんでくれる？」といってみたけれど…。

## 『ルウルウおはなしして』★

たかどのほうこ/作・絵 岩波書店



ルウルウのつくるおはなしには、こどもべやのにんぎょうたちが、とうじょうします。きょうはだれがしゅじんこうかな？

## 『おとのさま、ひこうきにのる』★

中川ひろたか/作 田中六大/絵 佼成出版社

はじめてひこうきを見たおとのさまは、のってみたいくてたまりません。のりかたもしらないまま、ひこうじょうにむかいます。



## 『ねこ探！ねこもしゃべれば事件にあたるの巻』★★

村上しいこ/作 かつらこ/絵 ポプラ社

ねこたま探偵団が住む商店街に、脅迫文が届いた。かつおぶし早食い競争が、中止になる？ねこたちは、事件解決に大忙しです。



## 『鮎はママの子』★★★

石井睦美/作 網中いづる/絵 そうえん社



鮎ちゃんとママは、ふだんはともなかよし。ある日、ゴミ箱をけとばしたことがきっかけで、ママとケンカになってしまいます。

## 『時のむこうに いま、ここにいる』★★★★

山口理/作 最上さちこ/絵 偕成社



戦争中の昭和の時代にタイムスリップした翔太と理子。二人は、現代の服そののせいで、スパイだとうたがわれてしまう。

## 『星のこども』★★★★

川島えつこ/作 はたこうしろう/絵 ポプラ社

小学校の月野池には、池の主がいるらしい。池におそなえものをすれば、ねがいがかんうと聞いて、ゆいは、りんごをなげました。



## 『うなぎ一億年の謎を追う』(ちしきの本)

塚本勝巳/著 学研教育出版

2009年、世界ではじめて、天然のウナギの卵が発見された。かばやきでおなじみのウナギだけど、じつは、なぞがいっぱい！



読みたい本、さがしている本は窓口で聞いてね！としょかんのホームページも見てください。

< 編集・発行 > 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50 電話 076-432-7273